

素敵な助産師さん、見～つけた！

横井まゆみさんからバトンを頂きました小原井恵美です。私は6年前に広島から夫の転勤で高松に来ました。そして三木町でこんにちは赤ちゃん訪問をさせて頂くようになり横井さんと出会いました。横井さんとは長男同士が中学校の同級生で部活も一緒というご縁もあって親しくさせて頂いています。



香川県助産師会に所属してから母子訪問事業以外にもほっと相談室や養育支援事業に携わる機会を頂くなど地域助産師としてたくさんの経験をさせて頂き感謝しております。

また、ぽっこ助産院にも週2日程度ですが勤務しています。ぽっこ助産院のことは、私が広島にいた時、広島県助産師会立の「たから助産院」開設にあたり実は眞鍋さんが講演に来て下さったことがありました。その時はまさか自分が高松に行くことになるとは、ぽっこ助産院で働くことになるとは思ってもみなかったの

で何かに導かれていたのかなと不思議な感覚です。初めてお会いした時から、周りを元気にしてくれる印象でしたが、一緒に働くようになった今も変わらずお元気で、そんな大先輩の近くで仕事が出来ることに感謝しています。



今年度の行事予定

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、急に変更する可能性があります。
変更時は「とらうべ通信」及びホームページに掲載します。

日時	研修会	会場
令和4年1月29日（土） 9：30～12：30	「新生児蘇生法(NCPR) スキルアップコース 香川県立保健医療大学准教授 竹内美由紀 高松赤十字病院 助産師 熊野明江 ぽっこ助産院 助産師 高田恵子	香川大学医学部附属病院 地域医療教育支援センター (スキルスラボラトリー)

◎参加の申し込みについて

・会員・非会員ともに申込期限は令和3年12月2日(木)16:00迄とします。但し、期限内であっても募集定員(12名)に達した場合は、その時点で募集を終了します。
・申し込み時は認定番号、有効期限、所属施設、携帯番号を必ずお伝えください。
・参加申し込み方法は、すこやか助産師センター事務所へ電話またはFAXでお申し込みください。

TEL:087-844-4131(受付時間:月～金 10:00～16:00) Fax:087-844-4130

◎教育委員より

次年度の研修計画など、教育に関するご要望やご意見をお寄せください。



その他(学会及び研究会)

月日	学会及びテーマ	会場
令和3年12月4日（土）	第22回香川母性衛生学会学術集会	香川大学医学部臨床講義棟2階 香川県三木町
令和4年2月6日（日）	第14回香川県小児保健協会研究会	Web開催予定

とらうべ通信

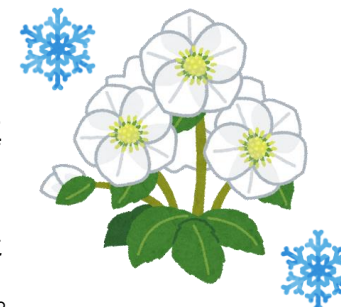
2021. 12月号
No.98

発行所：(社)香川県助産師会 高松市春日町 1176
発行責任者：宮本 政子 ☎：087-844-4131 FAX：087-844-4130

会長挨拶

会長 宮本 政子

香川県助産師会の会員の皆様、いつも香川の母子保健に貢献していただきありがとうございます。令和3年もあと残りわずかになりました。この原稿を書き始めると月日の流れの速さを実感します。今年は夏から急に冬になり、秋が短いような感じです。地球温暖化は季節の変化も奪うのかと思い、地球規模の対策を真剣に皆で考える必要性を感じます。



令和3年を振り返るとコロナ感染症に振り回された1年でした。最近は少し落ち着いてきましたが、感染症専門家は第6波がもう始まっていると言っています。これから乾燥し気温の下がる季節はウイルスが元気になる季節でもあります。基本的な感染症対策を怠らず、早くマスクのいらない生活になることを期待しています。今年の香川県助産師会の活動を振り返りますと、「中国四国地区助産師研修会」の開催と西讃地区の「いいお産の日記念事業」の開催があります。どちらの事業もこの通信に開催状況を掲載しておりますので、ご覧ください。どちらの事業もコロナ禍のためこれまでの方法を変更して実施しました。変更して良かった点も多々あったので、今後は以前のように全て元に戻すのではなく、良かった点は継続して新しい方法を模索して欲しいと思います。参加者の費用面ではオンライン方式は有効と思いますが、対面でなくては得られない効果もあります。何が最適か今後の課題です。その他の助産師会の事業では「ほっと相談室」を一部予約制にしました。

ほっと相談室は「予約なく相談したいときにいつでも相談できる」がコンセプトなので、感染状況を見ながら予約制は外していきたいと考えています。相談を望まれるお母さま方は多く待ち望まれる事業に成長してきました。担当される会員の皆様には心より御礼申し上げます。来年の日本助産師会の総会是对面方式が基本となっております。またお知らせをしますが、全国の助産師が集い、今後の助産師活動について活発に協議したいものです。



お知らせ

◎令和3年度健やか親子21全国大会にて「日本家族計画協会 会長表彰」を藤川シズ子様が授章されました。おめでとうございます。

◎とらうべ通信の郵送について：とらうべ通信の郵送を希望の方のみにする件に関して検討した結果、従来通り会員全員に郵送することになりました。ご協力いただきありがとうございました。これからも変わらずご愛読いただきますようお願い申し上げます。

◎すこやか会の開催について：令和4年2月19日（土）13:30～ZOOM開催となります。該当者にはメールにてご案内いたしますのでご参加宜しくお願い致します。

第25回「いいお産の日」(西会場)イベントを終えて 実行委員長 藤本智代

11月7日（日）お天気にも恵まれ「いいお産の日」イベントを開催することができました。コロナ禍での開催であり、会場の収容人数、イベント内容と形式、参加人数、スタッフの配置、タイムスケジュールなど安心して参加して頂けるように感染対策に配慮を要しました。完全予約制での開催とし、申し込みはポスターのQRコードを読み取って申し込んで頂く形式をとりました。内容は「抱っこと沐浴」「ベビーマッサージ」「マタニティヨガ」「よってきまい（足型・計測・相談）」の4つのブースとし、35家族97名のご家族に参加して頂きました。完全予約制にしたことで時間的なゆとりが生まれ、例えば「沐浴」では一家族に一人の助産師がつくことで自宅の準備物などを聞きながら個別性のある指導をすることができました。また他のブースにおいてもゆったりとご家族の話を聴くことができ、助産師のアドバイスがわかりやすかったとのご意見を頂きました。まさしくテーマどおり「あなたのそばに助産師がいます」が実践できたイベントとなりました。助産師自身にとってもこのイベントが専門的能力を高めて力を発揮できる場となりましたことは、今後の活動において励みになることと思います。最後になりましたが、今回のイベントを開催するにあたってご協力頂いた全ての方に深く感謝いたします。ありがとうございました。



中国四国地区研修会報告「中国・四国地区助産師研修会を終えて」

実行員長 眞鍋由紀子

10/9 10:30 Web 開催で中国・四国地区助産師研修会を迎えました。

本来なら2020年度に実施すべきところでしたがコロナ禍感染防止対策上、対面実施がかなわず1年延びて今回のWeb開催となりました。実行委員会としましては2年間かけての準備となりましたが何せWeb開催ということで雲をつかむようなわからないことだらけで支援して下さったGtomoさんにはいろいろとご迷惑をおかけした次第です。

地区研修の良さは中国・四国地区の顔なじみの会員の皆様が集って情報交換をするところに1つの意義があるのですがWeb開催ではそれはかないませんでした。

中国・四国9県から学生を含む103名の方の参加申し込みがありました。

10/9 佐々木三千代様の総司会のもとスタートしました。開会にあたり香川県子ども政策推進局局長よりご挨拶をいただきました。恒例の3部会集会ではまず、3部会の中国・四国地区委員様より各部会の活動報告をしていただきその後「産褥ケアを推進しよう」とのテーマでまず 香川の情報を発信し、その後ご参加の徳島県会長様・高知県会長様・島根県の担当者様から貴重なご意見をいただくことができました。突然指名させていただいたにもかかわらずそれぞれ各県の情報をご発言いただき感謝申し上げます。

また、研修会の中で7つの講演をさせていただき各講師の先生方の貴重な講演内容で受講者の3/1に余っての方から感想文が寄せられました。とても丁寧な心ある文章で、こんなに反響のある研修会は経験したことがないくらいびっくりさせられました。どのような感想か興味のある方はぜひ事務所に来てご覧になってください。

そんな中で小児科小谷野先生の講演につきましては、生まれてすぐの新生児を見ている看護職の皆様にはぜひ受講してほしいと思いました。胎児環境から新生児環境に移行する過程での看護職としての新生児フィジカルアセスメントの大切な視点を示してくださっています。そこで来年度の香川県助産師会総会後の研修会でもう一度小谷野先生の講演をお願いしていますので、関係の方々にはぜひ受講されますよう、ご案内申し上げます

実行委員の皆様はじめ宮本会長様のお力添えがあればこそこのWeb開催での成功であったことに深く感謝して報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

「中国・四国地区研修会 オンデマンド配信について」

加藤淑美



香川大学小児科小谷野耕祐先生の「新生児のフィジカルアセスメント」について報告させていただきます。

「新生児のフィジカルアセスメント」は出生後、児が胎外環境に適応する際のポイント①呼吸②循環③代謝の3つに分けて解剖・生理学的にわかりやすく説明していただきました。①呼吸の適応では、サーファクタントにより肺胞内の表面張力を下げ、ラプラスの法則で肺胞が破壊されるのを予防することをたくさんのイラストでイメージができました。②循環の適応では人間は動物に比べ、酸素飽和度の高い血液を頭部に優先的に送り、首以下が未熟に生まれてくる理由が納得できました。③代謝の適応では血糖や黄疸の発生機序を改めて聞き、母親に説明する際の参考になりました。それ以外に新生児期における疾患についてや、母親からの相談への対応についても教えてください有意義な時間でした。実際の臨床の現場で出生直後の児のケアに携わる際は、児の体内で起こっている適応現象を想像しながら関わり、正常経過をたどれるように促し、異常の早期発見に努めたいと思いました。赤ちゃん愛にあふれる小谷野先生のお話は大変貴重な時間となりました。ありがとうございました。



「日本の周産期医療の現状と地域における周産期医療体制の問題点」について香川大学医学部母子科学講座周産期婦人科学の金西賢治先生に講演していただきました。中国四国地区の助産師の皆様から感想が送られておりますのでご紹介させていただきます。

◎妊産婦が生活する地域の周産期医療機関での医療が受けられることの利便性等、対象へのより良い保健医療体制の構築をめざし実現された経緯に敬意を表します。さぬき市民病院院内助産システムのマニュアル等、細目に基づいて綿密に定め、協働する人々の共通理解の上に実践されている現状は全国の都道府県において、勇気づけられるモデルとして全国に発信され始めております。さらなる発展をお祈りいたします。

◎香川では助産所・院内助産システムが医師との連携が取れてスムーズに動いていることが素晴らしいと感じます。医師・助産師のお互いの理解と歩み寄りと協力の賜物だと思います。

◎周産期医療の現状がわかりやすく講義されていて理解しやすかった。院内助産立ち上げの皆さんへのひとかたならぬ熱意を感じた。

◎香川県における周産期医療の現状と課題について理解できました。自律した助産師の活躍が望まれ、その育成が課題と考えます。



2021年度 中国・四国研修会 産後ケア三部集会に参加して 三木町役場 こども課 助産師 横井まゆみ

三木町は人口約2万7千人の町で、令和2年度の出生数は162人です。こにちは赤ちゃん訪問は香川県助産師会に8割を委託しております。また本町の訪問を担当してくださっている助産師会助産師は3人で、その方々は今年度より事業を開始したアウトリーチ型の産後ケアの担当者として登録してくださっています。またぼっこ助産院は近く、産後ケアを利用しやすい状況に恵まれていると思います。実際利用されている方は、令和2年度では宿泊型では延べ5人で10日。デイサービス7人で延べ15日です。ぼっこ助産院の利用では、高松市に次いで2番目に利用者が多いようです。その理由として早めに赤ちゃん訪問に行ってくださった助産師が、紹介してつながるケースが半数程度しめています。対象者の状況としては、「母乳が上手に吸えない」「体重増加不安」「体力低下と授乳相談」「母子の健康状態が不安」「母子分離があり育児が不安」などです。またハイリスクの方に対して松本助産院でデイサービスの利用でしたが、訪問していただいたケースもありました。産後ケアを利用された方はその後、町の来所相談へもつながっているケースが多いです。三木町の利用状況を分析してみると、訪問などのきっかけがあり、意識の高い方が上手に利用して下さっていると思います。

今後の課題としては、母乳トラブルの初期や回復期でのアウトリーチの利用をすすめていくこと。また時間経過とともに回復していくと思い、苦しい育児をしている方については、自覚していただいて利用の後押しをすすめていけたらと考えています。また、研修会参加者の徳島県や島根県でアウトリーチをされている助産師のお話も聞け、医療機関から勧めてもらうことや利用者アンケートをとることも大切であることが示唆され、アプローチをしていきたいと思えます。